

2022 11/8

No.2174

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
—神奈川政経懇話会—



サッカーJ2リーグの横浜F.C.が10月16日、今季2位を確定させ、1年でのJ1復帰を決めた。復帰を祝うロケット花火が三ツ沢の夜空に高々と舞った。



contents

視点描	3
来年こそは優勝祝いたい	
政策	4
「全国旅行支援」いっときの花火 観光業 自ら付加価値創出を	
国際	8
追い込まれるプーチン大統領 「核使用」という最後のカード	
政治双眼鏡	12
安倍派は分裂するのか 目が離せない菅義偉前首相	
経済双眼鏡	13
やっている感の経済対策 大胆な賃金引き上げ先行を	
かながわTODAY	14
10月の主な経済ニュース	

事務局だより

◇2022年11月定例講演会
11月24日（木）午後1時30分～3時

メルヴェーユ「ヴァランセ」
（県民共済プラザビル6階）

講師：中央大学教授 岡嶋裕史氏

演題：「メタバースとは何か」

◇2022年12月定例講演会
＝シンポジウム・交流会

12月9日（金）

ロイヤルホールヨコハマ（横浜市中区山下町90）

▽シンポジウム

午前11時～午後0時30分、3階「セレナーデの間」

パネリストは共同通信社の杉田雄心・政治部長、春木和弘・経済部長、有田司・外信部長。

コーディネーターは神奈川新聞社の鈴木達也・論説主幹。

演題は「2023年の動向を読む」

▽交流会

午後0時40分～1時40分、3階「シンフォニーの間」

※新型コロナの感染拡大の状況によって中止する場合があります。

【お知らせ】 神奈川政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員コーナーを設け、新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045 (226) 2121。

視点 点描



来年こそは優勝祝いたい

2022年のプロ野球が終了した。

我々が横浜DeNAベイスターズは、連敗スタートとなった開幕当初こそやきもきとさせられたが、5月末の鬼門のセ・パ交流戦あたりから息を吹き返し、セ・リーグ2位でシーズンを終了。3年ぶりに本拠地・横浜スタジアムで迎えたクライマックスシリーズで惜

しての応援こそできなかったが、多くの人が詰めかけるスタジアムが戻ってきた。

クライマックスシリーズファーストステージでは、横浜スタジアムに連日、過去最高の約3万3千人が詰めかけた。両翼のスタンドにウイング席を設ける改修を行ってからは初めてのほぼ満員。黄昏時、ナイター照明で照らされたベイスターズファンで埋まるスタンドの迫力に、思わずため息が漏れた。

関内の街の様子もだいぶ変わった。内勤デスクとしてナイター

ゲームの原稿を処理して午後11時過ぎに会社を出ることが多かったが、横浜スタジアムで試合のある日は、街にもぎわう。ベイスターズファン、そして阪神や広島カープのユニフォームを着たファンたちが、試合の熱気を冷まそうと飲食店に向かう。まだまだコロナ前

の水準には戻っていないのは分かるが、かつてのシーンと静まりかえった夜の関内を思い出すと、別世界のような景色だ。

改めて、横浜はスポーツとともにある街だと思う。

新型コロナウイルスを巡っては、さまざまな規制がなくなっていく一方で、流行の第8波を懸念する声も多い。かつてのような大幅な活動制限に戻ることはなさそうだが、気の抜けない日々が続く。個人個人ができる対策をとり、行動様式の変化も受け入れながらやっていくしかない。

来春、また多くの観客とともに新しいシーズンが迎えられることを、そして1年後には、横浜が街全体でベイスターズの優勝を祝っていることを。初詣には少し早いが、願ってやまない。

(神奈川新聞社編集委員兼論説委員

和城 信行)